夕刊

九月二十八日發行

之夜（第一ヶ月間）金五拾錢　金六拾錢　金五拾錢　金六拾錢　金九拾錢　金一圓

發行所　磐城新聞社

東京振替口座一〇六・五八五番

（日曜祭日翌日休刊）

童話　赤い木の實（一）

千葉省三

大きな町の中に、一本のつかり元氣になりました。大木がありました。この町の木といふ木は、みんないつ〳〵、遠い野の唄ゞうたつちげて、お雜巾のやうにして閉かせました。これてゐましたが、この大木ばかりは、いつも美しく綠色に繁つて、燈臺のやうに高々と、町の空にそびえてゐました。

ある夕方、一羽い小鳥が嬉々しく羽ばたきしながら、この木をめがけてとんで來ました。

『私はまひごになつた小鳥です。どうぞ一晩とめて下さい』と、小鳥が云ひました。

『さあ〳〵、どうぞおとまゆつくり休ませていたゞかれます。ほんとに、あなたのお友だちといつしよに南の國をたつたのでしたが途中であらしにあつて、羽をいためたゝめに仲間におくれて、たつたひとり北の方をさして、さびしい旅をつづけてゐたのでした

——ある日、渡り鳥は渡の間に、何か赤いものが浮いてゐるのを見つけました。それは小さな一つの木の實でした。渡り鳥はもう三日も、青い波と白い泡ばかりながめて飛びつゞけて來たのでしたから、その赤い木の實を見ると、大そうなつかしく思ひました。

日が暮れました。小鳥は木の葉にかこまれた、居心のよい枝にとまつて、うつとり眼をつぶつてゐました。

『おやすみになれますか、小鳥さん！』ふいに大木が聲をかけました。

小鳥は眼を開きました。あたりはまつくらでした。夜風がサラ〳〵と梢を渡つてゐました。

『あゝがたら。お陸さまでは、明日になると伐られてしまひのお客樣なのです。私はいてゐるのを見つけました舞ひおりて見ると、それは一羽の渡り鳥がありました

——その渡り鳥は、大せいのた友だちといつしよに南の國をたつたのでしたが途中であらしにあつて、羽をいためたゝめに仲間におくれて、たつたひとり北の方をさして、さびしい旅をつづけてゐたのでした

——ある日、渡り鳥は渡の間に、何か赤いものが浮いてゐるのを見つけました。それは小さな一つの木の實でした。渡り鳥はもう三日も、青い波と白い泡ばかりながめて飛びつゞけて來たのでしたから、その赤い木の實を見ると、大そうなつかしく思ひました。

『ほんとうですとも。』と、大木は悲しさうに答へました。

『だから、今夜は私の最後の晩なのです。それで、いろ〳〵と昔のことが思ひ出されて、どうしても眠れないのです。小鳥さん、私の身の上話を、聞いてくれますか』

『えゝ、どうぞ聞かせて下さい』

小鳥は、もうすつかり眼がさめてしまつて、羽づくろひをしながら、大木の話に耳を傾けました。

——それは、今から五百年も前のことなのです——と、大木は、しつかな聲で語りだしました。

——南の國から、ひろい海を越えて飛んで來た

——その渡り鳥は、大せ

追悼故井上消防組頭

（護國院殿二七忌に際して）

平華生

○君逝けど香りは永久に殘りけり
○臨終まで公事を語る君尊し
○遠近の諸人弔ふ君の死を
○棺蓋ふて倍々光る君の德
○天盃に響く君の結かな
○死して猶餘榮のあもし盛儀かな
○稀に見ん盛儀ゝ君の德偲ぶ
○七草の詩ある地下に君笑ふ
○大智寺々畔ゝ鄰十鑑る哉
○君の後組も家業も繁榮ゆ

天氣豫報

小名浜測候所觀測

今晩も明日も北東の風曇

今の話

△英提督ネルソン生（一、七五八）△本居宣長歿（享和元）△奈良大佛を鑄る（天平七）

秋山の樹の下がくり逝く水の吾こそ增さめみおもひよりは　鋭王女

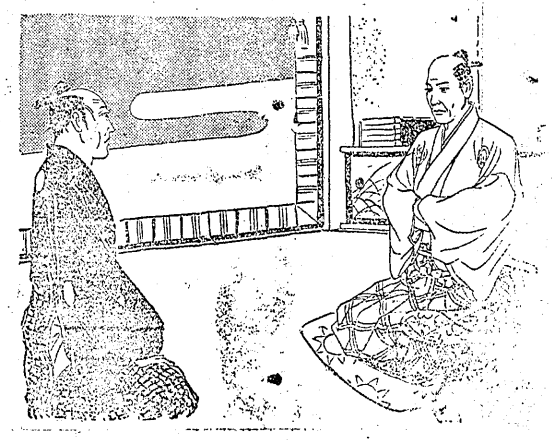
講談　隱密小天狗

（134）

中川雨之氏作
近藤　鐵氏畫

善後策

三郎兵衛は、正雪と若侍との問答を、默つて聞いてゐたが、それに依つて、俊作は、此處の穴牢に入れられて居ることを知つた。



若侍は立去つた。

三郎兵衛は、正雪と若侍の懷ろ刀と云はれてゐる篠塚光之進が、ある日、向柳原の上屋敷へ出頭して、主人伊豆のかみに目通りをして。

正雪屋敷の穴牢。

それは、この牛込榎町の一角に堂々たる門構へ、左右に長屋窓を連らね、一見した處、大名の屋敷かと疑はれるその一廓の地の下を深く掘下げ、其處に秘密の穴牢が出來て居るのであつた。

だが、正雪といふ男を。只俗漢な學の先生だとばかり思つて、天下を狙ふ、惡人、反逆、謀叛、後本、そと夢にも知らない世間ではその穴らうの秘密なども、素より知りさうなはずはないところでその穴らうは、苟くも。

一味の隱謀の妨害となる裏切者間諜なぞの疑ひのある者こと〳〵引捕へてほうり込んでしまひ、今迄に一人として命の助かつたものはない、この世の地獄とでもいはうか、じめ〳〵とした暗黑の穴らうはすでに幾人の魂を屠つてゐるか知れないのである。

それ等の人と、同じ運命に落ちた俊作である。

三郎兵衛は、また心配になつて來た。

× × ×

松平伊豆守の家來で、その人伊豆のかみに目通りをしけれど、相變らず隱密として活躍してゐることゝばかりも思つてゐたのに、それだけのに、行方不明とはまつたく意外、寝耳に水とは、このことである。

『いつたい、行方不明になつたのは、何時頃のことか』

『さうでございますね。今日でもう六七日にもなりませうか』

『もう、そんなにもなるか……』

伊豆守は、だん〳〵不安になつて來た。

『私も、一應探つてはみましたが車坂の住居では、小夜美と、老僕嘉助が、只だウロ〳〵するばかり何を訊いても雲を摑むやうな話で頓と、手がかりがございませぬ。』

『殊に依ると、敵の術中に陷つて隱密を看破されたのではあるまいか』

『正雪屋敷へ出入りをする處々で淸ざつけたやうに聞いて居りましたが、萬一。

『殿、大事が出來いたしました』

といつて顏の色が變つてゐる。

『大事とは、何事か』

伊豆のかみは、脇息を押遣つた。

『戸田俊作が突然、行方不明となりました』

なるほど大事である。みる〳〵深い鍵を、眉間に刻んだ伊豆のかみ、爰しばらく、俊作には命はなかつたそんなことにでもなりますと、大變でございます』

『斬られたか、或ひは囚はれの身となつたか、どの道無事では居られまい、可惜ら有爲の壯漢を可哀想なことをした』

愁ひを紋り出すやうな吐息。

伊豆守としては、俊作の安否もとより氣がかりだがその際に若し相手に機會を與へてしまつては、それこそ天下の一大事であると考へた。

由來、智惠伊豆とさへ呼ばれ、幕閣切ての智惠者である伊豆守。このまゝ、手を束ねて、ぼんやりして居る筈はない。

傍らに、光之進の居るのを忘れたものゝ如く、ヂッと首を垂れて思案の態。いまやその善後策に就て、有りたけの智惠を紋つてゐるのである。

けれど、いくら考へても格別好い分別は出て來ない

平市二丁目
あまと自動車商會
電話六四〇番

看護婦至急募集
（委細面談）
高柳醫院

診療時間
外科　一般　內臟外科
レントゲン科　泌尿器科
北川外科
〔血液檢査毎日〕
醫學博士　北川芳夫
技師　三浦常保
イツテモ入院デキマス。
平市新川町〔電四六四〕

開業お知らせ
御料理
平市中田町
金みよし
電話四一九番

男女學生服
大特賣
高島屋の洋服
新柄背廣
レンコート
品製既二並文注
高島屋
平市二丁目
電話三八六番

品質第一
電話二六八番
平牛乳舍
平市・九品寺前

或は下痢或は胃腸を害ねたりして三日四日も便通がなくて頭痛を覺ゆる御方はキキメの早い
霊効散
胃腸藥
を御試し下さい
胃腸病。心臟病。腦。痔。遺應藥。
三年五年と患ふ慢性胃腸病が全快した人が澤山あります御望の方には見本藥一日分を差上げますから御遠慮なく御來局下さい。
平市古鍛冶町縣社ノ下
處方箋調劑所　阿康藥局
定價　一　五十錢　壹　四　電話　四四番
八日分　廿日分　振替口座東京三〇〇五番
御子樣方には飲み易い小兒靈効散があります。

メガネ專門の店
メガネは絶對信用ある當店に
先づ御相談下さい……
平市本町二丁目　玉屋

新車のお知らせ
斷然!!!　乘心地良い!!!
三七年型フォード
入車いたしました。
是非！御試乘の程を！
市內四丁目
スヂキタクシー
電二一七番

一般貨物運搬
迅速低廉に御取扱ひ致します、
福好工業合資會社
代表者　强口唯七郎
自動車部
電話二八二番
砂利、砂の御用命に對しては特に廉價にて御供給致します、

看護婦
見習看護婦　數名募集
（希望者御來談下さい）
新川町
婦人科　五十嵐醫院

重田眼科
平驛前通り　元貯蓄銀行跡
眼科一般
眼鏡檢定
醫師　重田景治
平市田町一番地

秋田大学図書館
東京上野櫻木
下谷郵便局横通角
電話下谷局六七七番
私は平市出身ですから特に鄕里の皆樣方の爲めに御便宜を圖ります
主人　比佐棟雄

產婦人科
花柳病科
午前宅診
午後往診
入院應需
井坂醫院
平市田町（元合津醫院跡）
電話五五九番

使用制限令最初の炭礦其他求人申込み

時局柄多數を豫想さる

時局が生んだ各會社工場等愈よ明後三十日に切迫したに於ける若き技術者の急需ので磐城、入山、古河の三に伴つて立法された去月二十三日勅令第五九九號學校卒業生使用制限令第一條の所謂

厚生大臣の指定する大學專門學校、實業學校其他に準ずべき各種學校に於て厚生大臣の指定する學科を修め其の學校を本令施行後に於て卒業する者の國家總動員法第六條の規定に基く使用制限は別段の規定あるものの外本令の定むる處による

に基く同月二十四日省令二十三號の『雇傭契約による使用認可申請』期間は

仙台礦山監督局が時局に即應して生産能率の增進、災害防止等の指導に資する爲過般來計劃中であつた本分駐所問題は最近急激に進展し、場所を市内白銀町不二タクシー臺の加藤事務所々有家屋を借り受け愈よ來月一日から事務を開始する事に決定した。分駐さるる職員の員數頗ぶれ其他未詳であるが常磐炭田の中央に在つて采配を振る重要な使命を帶べる同所の事とて人的方面に亘り恐らく間然する處無き陣容が整へられるものと豫想さる

仙鑛局分駐所

白銀町に開設決定

愈よ來月一日から

仙台礦山監督局が時局に即應して生産能率の增進、災害防止等の指導に資する爲過般來計劃中であつた本分駐所問題は最近急激に進展し、場所を市内白銀町不二タクシー臺の加藤事務所々有家屋を借り受け愈よ來月一日から事務を開始する事に決定した。分駐さるる職員の員數頗ぶれ其他未詳であるが常磐炭田の中央に在つて采配を振る重要な使命を帶べる同所の事とて人的方面に亘り恐らく間然する處無き陣容が整へられるものと豫想さる

○……市農會々報發行　平市農會では農事普及のため今後『會報』を發行することゝなり此程第一號を出した

諸橋會長の『發刊の辭』沼市長の『發刊祝辭』や農事暦等十八頁

嬉し！繭景氣沸く

四倉市場きのふ開く

四倉繭市場は昨二十七日から民友林間伐講習會を來月五日から晩秋繭の取引を開始した六の兩日四倉町芳齋公有林當日の御祝儀相場左の如しに開き左の講演がある

白繭五・四〇　安五・〇〇　○　駄五・二九　掛目三九

未だ本格的に出廻らないので出荷は八百九十三貫であつた、稻の稔りと共に農村には又一としき嬉しい繭景氣が沸き立つわけだ

間伐講習會　縣主催

間伐について（縣農林技師藤吉仁太郎）間伐實施（縣農林技手戸田研太郎）

眞綿講習會　永戸村では二十五日から十日間同村上永井共同作業場で、寒輪村では來月五日から十日間同村高野同場で何れも川部村加茂マチ子さんを講師として眞綿講習會を開く

延べ既に六千人

献金の外に校内を整備

好成績の磐中理髪作業

磐中が非常時意識昂揚の一策として昨年十一月一日から創始した國防献金理髪作業は既報の如く理髪一回五錢の定めにより熊谷教諭監督の下に生徒の自主的作業により今日迄延べ約六千人此の收入三百餘圓中所要器具其他を購入費若干を控除したうちから既に數次に亘つて市役所に寄託した献金百圓に達した外

各教室へ清掃箱二十五個上級生控室へ新聞閲覧台五十個　選手以外の一般生徒用スポヂシ野球道具掲示板等の校内外設備に充てたなど、着々有形化する極めて意義深い成果に校内の關も漸次熱を帶び來つたとの事である

小學訓導　第四回縣下小學訓導体育大會は十一月六日磐中グラウンドに開くが種目は陸上競技、柔、劍道である

体育大會

搜索願二つ　内郷村白水平井五右工門方雇人石川縣金澤市生れ塚本政雄(二)は七月中旬以來行方を晦したが平附近で働いてゐるらしいから又一之から、又山形縣東置賜郡小松町卯右工門長男遠藤新吉(二〇)は去月二十九日家出、内郷村宮澤治木勝三郎方を頼つて炭礦に約二ヶ月ばかり働いてゐたが最近家出、同人は一人息子で家が困窮してゐるからと實父から何れも平署に搜索願

西山校長出發　在滿皇軍將士慰問並に滿洲國教育視察の郡代表小名浜小學校長西山直三郎氏は派遣員一行と共に今二十八日朝福島から出發

暴行男に懲役　暴行男―江名町漁夫畔留芳雄

遺家族の優先採用

來月二日第一校に

滾通り雇傭者會同

平職業紹介所では來月五日等の諸事項の徹底をはかるべく縣並に中村職業紹介所と合同主催で來月二日午後一時から第一小學校講堂に軍人遺家族の優先採用、雇傭主六十餘名を招き懇談する

現在二十餘名の會員を有し地方刀圭界の一勢力たる日本醫科大學同窓會石城支部では來月一日午後三時から市内マルトモホールに於て簡素な懇親會を催すと

日本醫科大學同窓會

母校の二教授を招聘し

マルトモで講演會

母校教授を招聘左記講演會を催し終了後六時より谷口樓に第四次總會を開き終つて

演題

一、糖尿病殊に無害性糖尿病に就て

日本醫科大學教授

同大學附屬病院長

醫學博士　行徳　健助

一、小兒結核と老人結核

醫學博士　長澤　米藏

晴の竣功式後

二日間一般に公開

彩る幾多の出陳物

市公會堂竣功式は既報の如く來月三日の大安日を卜して擧行するので昨二十七日午後一時から委員、係員らが公會堂で打合會を開いた市では晴の竣功式後四、五の兩日午前九時から午後八時迄公會堂の内部を一般參觀せしむる

尚この機に際し市内お花のお師匠さん達は總動員で生花を陳列『われらが殿堂』を彩り又中安會では安藤公の遺物、舊平城圖書や城下町地圖其他過ぎし日の『たひら』を偲ばせる幾多文献等を出陳し躍進平の姿を深く市民の胸に刻み込まるといふ

公會堂を

活動するには一番良い季節となつた

市内上平出身　薄葉貞一君(通信)

そろ〳〵ソ連國境にも秋の地平線の彼方や四方の山風が吹いて參るそろ〳〵赤みを帶びて初秋が訪れ參り秋の感じが出て愈よ我等が活動するには一番良い季節となりました。夜間等尚ほ一層の緊張味を以て勤務に精出して居ります。只今は(略)全員の緊張味は格別であり振つて居ります。

滿洲の山は裸山が多くて木の繁つた處などは見當らません、何故植林しないのかとつく〳〵思ひました。農耕作も滿洲の特有物で米等はありません。たゞ畜産は盛んで、各家庭に少くとも二三頭の牛が飼つてあり大きい處では十頭二十頭放牧して居ります。過日自分ひけましたが、川幅も二〇〇米位あり濁流が一杯に流れ四邊一面水で沼になつた故道路復舊はやつて居るが(略)太陽の落ちた夕方などはあもし日の傍が浮かんで參國無量に打たれます。何時かは仇をよ敵方を睨む時も再三であります(略)

切にして呉れて又小さな子供らは日本語を學校で教へて居る故が皆判つて呉れて非常に力になります、暇なとき時などは滿人相手に運動や遊戯等もやりました、内地人同樣で服裝は變つて居るが可愛らしい子供らも相當あります。

豆滿江は今では水も相當ひけましたが、川幅も二〇〇米位あり濁流が一杯に流れ四邊一面水で沼になつた故道路復舊はやつて居るが(略)太陽の落ちた夕方などはあもし日の傍が浮かんで參國無量に打たれます。何時かは仇をよ敵方を睨む時も再三であります(略)

陣中を聽く

(249)

滿國境にも秋風が吹いて參り初秋が訪れて參りました。滿洲帝國にも秋亞細亞の新興季節となりました。

今日は又建國祭で各部隊は一齊に日章旗を門口に押し立て祝日で

平市新投影

(五)

深夜の悔恨

感傷の抛物線を描く

暗渠工事未着手地點

時局の裏道を忍び歩く三十分七十五錢と年の昔から可愛らしい噴水云ふ内緒の時を續けてゐる白耳義ブラッセル市の小便小僧！（マスケン・ピッス）とは異つて座を立つ事が如何にも臆劫で、我慢に我慢をして居た之れはまア餘りにグロテスクな大僧の大噴水なのである。此所へお引合ひに出されてはブラッセル市役所の

○

世界一の愛嬌者。三百餘

○

先づ之れからだとトンビの袖をパッと後ろへ刎ねるそして双手を支點にいともよく抛物線を描き乍ら『イヨウ吾らのガソリンボンブ……』てな景氣の良い掛け聲と共に放水されるがその場合アルコールの爲に

○

此の時お城山の十時の鐘がゴーンと一杵また一杵。徐ろに時局を辨へぬ耽溺兒の反省を促すかに聞こえて參

○

暗渠工事の未着手地點。そこのドス黒く澱んだ汚水の中には夜毎雨下する菌の一種が蹴爾として霉花の讃美を續けてゐるが、一面には遊び飽きの耽溺兒がお城

（◇）

傍に立つてゐる青銅の立像が潜々と泣くか知ら

○

の袖をパッと後ろへ刎ねるそして双手を支點にいともよく抛物線を描き乍ら『イヨウ吾らのガソリンボンブ……』てな景氣の良い掛け聲と共に放水されるがその場合アルコールの爲に

○

様に最後の雫を振つて前を撫き合せる時俄に悪夢から感傷の涙の何滴かゞ交つてゐる勘定かも知れぬさうな

○

と更け行く秋の夜の感傷に涙を出し度い様な氣分になることの勿論なんである

○

になつたり其れは迎る愉快な恰好つたらあるもあしないるんだらう

○

てくゝの字の兩膝が真つ直ぐと今更遥らぬ悔恨の情葬々

送る毛布位買へるのに……

つたのへ少し足すと前線へ

醒めた様な彼は、今夜つかゐる

はつてゐるのに……

酔ひ

遊び飽きの耽溺兒がお城

は遊び飽きの耽溺兒がお城

一種が蹴爾として霉花の讃

美を續けてゐるが、一面に

反省を促すかに聞こえて參

徐ろに時局を辨へぬ耽溺兒

の反省を促すかに聞こえて參

一時から農事講演會を何れも小學校に開く

○……古河殉職者慰靈祭　古河鑛業所では去る二十五日同殉職者並に無縁佛慰靈祭執行

○……平商遠足　平商では三十日全校生の遠足運動會

○……銀紙献金　市内大町鳥越守さんは銀紙二百三十匁を國防費に市役所寄託

法である

高久便り　高久村では來月五日午前九時から桑畑耕作協議會、同日午後

○……市内大室鎮座村社羽神社の祭典を二十九日午前十時から執行

秋祭。

○……故障の起らぬ不思議な萬年筆

一、インキびんに差込んでサカサにすれば完全にインクが入る

一、あふれるインキも直ぐ元にかへる

一、ペン先はイリヂウム附で耐久三十年

◎一本毎にたをれてもこぼれぬ携帶用インキ一個進呈

日英米佛特許

平市特約店　佐々木商店　電話二三三番　公園前

讀め……麥と兵隊　一册一回

諸判定應需
東京市本郷區湯島四丁目
高島易斷總本部　神誠會

酒とマヅイ
酒とんの
平市田町花ノ里
電話三三番

日本醫科大學教授
醫學博士　長澤　米藏

日本醫科大學教授
醫學博士　行徳　健助

空冷式　健康陶枕
笑はれる程よく眠れる、疲勞倦怠を快復し精力記憶力を增進する實用新案の健康陶枕
効能
この空冷式健康陶枕を……
高血壓症　腦溢血症　不眠症
のぼせ症　耳鳴、頭痛症の方に特に卓効あり
腦を酷使する人、腦神經衰弱の人は藥よりも
平市五丁目
特約店　入江陶器店
電話五八二番

平みやげ
味覺の秋となりまたしまりな
毎度有難う御座います
滋養豐富な
ニコ〳〵のもち飴を
たすゝめ致します。
御進物用箱入　20　30　50　70　1.00
御下命次第迅速に配達致します。
平市新川町
ニコ〳〵飴本舗
電話四四九番

日英米佛特許
パテロット
N式
時計
平市本町

病室完備
入院隨時
根本産婦人科醫院
平市南町五二
根本莊次郎
根本貞雄
電話三四番